

平成29年度 病院と地域で働く看護職の連携研修会

研修番号 4

川崎に住んでよかった ～小児・精神の事例から看護の連携を考える～

療養者が地域で暮し続けるためには、病院と地域のより良い連携とそれぞれの役割を共有することが大切です。今回は「精神保健の現状と課題」の講演後、小児と精神の事例を通して、具体的な実践報告から連携を深める研修です。皆さんの参加をお待ちしています。

対 象：①市内の病院等退院調整にかかわる看護職・これから関わる看護職
病棟看護職、外来看護職 ソーシャルワーカー等
②市内訪問看護ステーションの管理職・管理代行者等
③区役所・医療福祉関係職員（保健師、社会福祉士、
精保健福祉士、ソーシャルワーカー等）
地域包括支援センター職員



日 時：平成29年12月12日（火）13:30～16:30

場 所：川崎市ナーシングセンター 研修室

内 容：①講演：テーマ：川崎市における精神障害者支援の現状と課題

講師：川崎市精神保健福祉センター

担当課長 津田多佳子 氏

② 連携事例報告

事例1 小児関係の事例：

訪問看護ステーション長沢ひまわり所長

坂本 由恵さん

事例2 精神関係の事例：

Luxem 訪問看護リハビリテーション川崎多摩所長

坂井 芳江さん

③ グループワーク ④グループ発表 ⑤まとめ

参加費：無料

主 催：川崎市ナーシングセンター看護連携推進委員会

川崎市訪問看護ステーション連絡協議会

申込み：F A X ・ 電話 ・ E mail

F A X 044-711-5103

電話 044-711-3995

E mail : mail1@kawa-kango.jp

申込先：川崎市中原区今井上町 1-34 和田ビル 3 階 公益社団法人川崎市看護協会

しめきり：平成29年12月5日 *受講の決定通知はいたしません。

..... 申込書 12月12日研修

氏名 _____

連絡先（電話） _____

氏名 _____

所属 _____ 職種 _____